

検討の観点と内容の特色

書名	新編化学	教番	2 東書・化学 002-902	判型・ページ数	B5 判・362 ページ
----	------	----	-----------------	---------	--------------

項目	観点	内容の特色
内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。 基礎的・基本的な知識・技能の理解や習得のための適切な配慮がなされているか。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成するための適切な配慮がなされているか。 「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう編集されているか。 発展的な内容の取り扱いに対する適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校理科学習指導要領の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて不足なく取り上げている。 各学習項目の最後（節末）に、「この節のポイント」が設けられており、学習内容の要点を押さえることができるように工夫されている。 各章末に「まとめ」（用語とその意味の確認）と「章末確認問題」が配置されており、基本的な学習内容の定着が図られるように工夫されている。 探究の過程に沿った構成で、適切な箇所「実験」を設定し、生徒自らが課題を見いだして、探究的に学習が進められるように工夫されている。安全にも配慮されている。 「実験」では、考察への適切なアプローチがあり、生徒自らが結果を分析、解釈してまとめ、科学的に探究する力を育成できるように工夫されている。 「実験」とは別に短時間でできる実験として「ちょこラボ」があり、取捨選択しながら授業が進められるように工夫されている。 巻末には「おうちラボ」があり、生徒の思考力と興味を高められるように工夫されている。 すべての節の冒頭に「Let's start!」が配置されており、身近な自然や日常生活とのつながりを実感できる内容から導入し、学習への意欲を喚起できるように工夫されている。 随所にキャラクターが登場して気づきや思考を促すヒントを示し、生徒の主体的・対話的な探究活動をサポートする配慮がなされている。 学習を深めたい箇所には「発展的な学習内容」があり、実態に応じた指導ができるようになっている。
組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 中学校との接続や他科目との関連など、カリキュラム・マネジメントに対する配慮がなされているか。 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文は丁寧に記述され、生徒自らが読み進め、理解できるようになっている。 節の構成が、「Let's start!」→「?」（学習の問い）→（「実験」）→本文→「!」（この節のポイント）で構成されており、生徒が主体的に課題を見いだして学習を進められるように工夫されている。 巻末資料には、「探究活動の進め方」「観察実験を行う際の注意」「実験の基本操作」など、学習を進めるにあたっての必要な情報が記載されている。 56 節構成となっており、全生徒が無理なく学べる内容・分量になっている。 中学校や化学基礎での既習の内容を振り返り、抵抗なく学習が進められるよう、随所に「復習」が設けられている。また、二次元コードで中学校理科教科書、化学基礎教科書の「学習のまとめ」の紙面を確認できるように工夫されている。 「ちょこラボ」が適所に配置されており、生徒の興味・関心、授業や学習の進度に応じて取り組むことができるように配慮されている。
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 個に応じた指導への工夫がなされているか。 生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 持続可能な社会をつくる力を育成するための工夫がなされているか。 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 文章、図やイラストは、わかりやすいものになっているか。 コンピュータやインターネットなど、ICTの効果的な活用への配慮や工夫がなされているか。 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図説化学」では、学習した内容を視覚的かつ系統的に整理し、学習内容のより定着する工夫がされている。 「化学×仕事」では、学習内容に関係する職業とそこで働く人が紹介されており、学習意欲を高められるように工夫されている。 節ごとに「?」（学習の問い）と「!」（この節のポイント）が設けられており、生徒が課題意識をもち、見通しをもって学習を進めるとともに、学習内容の要点を押さえられるように工夫されている。 「おうちラボ」では、自宅でもできる実験を安全に配慮して扱っている。また、観察・実験ごとに、事故防止の注意マークを目立つように付している。 各章末の「章末確認問題」は、巻末に解答が示されており、自学自習への配慮がなされている。 SDGs に関連する内容も取り上げるとともにマークを付して強調し、意識を高めることができるように工夫されている。 重要用語や物質名、読みにくい漢字には振り仮名を付けている。また、振り仮名などの小さな文字には、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 文章は丁寧にわかりやすい表現になっている。また、簡潔でわかりやすい図やイラストが随所に掲載されている。 中学校での既習の内容、観察・実験の方法や結果、教科書の図版だけでは理解しにくい内容などについて、二次元コードで情報を収集したり、動画で確認したり、アニメーションなどで理解を深めたりできるように工夫されている。 指導資料については、「授業プリント」や「デジタル板書」、「動画」などのデジタル教材が充実しており、ICTを活用した授業に対応している。オンラインでの授業への対応も可能である。

印刷・造本上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 環境保全や生徒の多様な特性に対して配慮しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 製本は針金を使用せず接着剤で製本しており、金属を使用しないことによるリサイクル性を重視している。 本の中心までページを開くことができる製本のため、生徒が使いやすくなっている。 生徒の負担に配慮し、紙は品質を保持しつつ軽量の紙を使用している。 用紙には再生紙を、インキには植物油インキを使用している。 レイアウト、色づかいなど、ユニバーサルデザインに配慮されている。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。
総合所見	<ul style="list-style-type: none"> 上記観点からみた、全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に難解な印象を与えない構成、内容で、学習の要点が確実に押さえられるとともに、日常生活や社会と化学を結びつける工夫がされており、生徒が自ら楽しく学習を進め、確かな力が身につく教科書である。丁寧でわかりやすい文章で展開されており、理科を苦手とする生徒でも読みやすくわかりやすい教科書である。 授業の流れやポイント、中学校での既習の内容との関連がわかりやすく示されており、教師にとって指導しやすく、授業を楽しく豊かにするための参考となる教科書である。